農業データ連携基盤(WAGRI)

目的·背景

農業の高齢化・人手不足、気候変動、食料安全保障、消費者ニーズの多様化に対応するため、データ活用による効率化と安定生産が不可欠です。WAGRIはAPIを通じて気象・農地・市況・生育予測などのデータやプログラムを提供し、スマート農業の推進と収益性向上を支援しています。

事業概要

WAGRIは、農業データの流通と活用を促進し、農業者に新たな価値を生み出すプラットフォームです。

サービス形態としては、企業間取引を通じて農業者に価値を届ける「B to B to C」型のサービスとなります。

WAGRIの利用会員は大きく以下の2つに分かれます。

- WAGRIのプラットフォームを通じてデータやプログラムを提供する「データ提供会員(無償)」
- WAGRIのデータやプログラムを活用し、農業者向けアプリケーションを開発・提供する「データ利用会員(有償)」

データ利用会員は、WAGRIを活用することで、コストを削減しながら効率的かつ高品質な、アプリケーション開発が可能となります。

中国地方におけるWAGRIの活用事例としては、株式会社セラク様が提供する「営農支援アプリ」や、日本農薬株式会社様の「レイミーのAI病害虫・雑草診断アプリ」などが挙げられます。これらのアプリは、中国地方の農業者の皆様にも広くご利用いただいており、地域の営農支援や病害虫対策に貢献しています。

今後の展望

WAGRIは、今後もスマート農業に活用いただける多様なAPIコンテンツを拡充するほか、農業者に直接的な経済メリットを 提供するサービスについても強化し、自治体やJAとも連携して普及を加速していきます。 実施主体 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 株式会社セラク「営農支援アプリ」、 日本農薬株式会社「レイミーのAI病害虫・雑草診断アプリ」等で活用 ビッグデータ 支援事業 ー

